

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2018年  
6  
月号



## 目次

- ☆活動報告
- ☆大学ボランティアセンターめぐり……2
- ☆クラブ活動報告 ……………3
- ☆夕会便り ……………4
- ☆バザー品大募集 ……………5
- ☆ボランティア募集 ……………6
- ☆クラブボランティア募集
- ☆牛乳パック満員御礼 ……………7
- ☆写真募集のお知らせ ……………8
- ☆バリアフリーよもやま話(岡本連載)  
第71回「国会 手話質問」 ……………9
- ☆寄付のお礼、敬事の料理コーナー  
…………10
- ☆恵司のつぶやき
- ☆メンバーのつぶやき ……………11
- ☆メンバーのつぶやき ……………12



## 活動報告

風の子会公式のtwitterを開設して学生ボランティアに呼びかけたり、企画部は5月9日(水)職員1名・メンバー1名で直接大学(法政)のボランティアセンターに赴いて会の説明と見学をしてきました。工房の和紙ハガキは、試行錯誤しながら製品作りに勤しんでいます。

クラブ活動は、数年続いた水泳部、発声部が諸事情で無くなり、5月から新しく『ぶらり部』が創設され、お台場から乗船して愉しんできたそうです。5月1日、広報みなとから就労支援Bのメンバー1名と所長が取材を受けました。6月号の障害者支援特集のページに掲載されるそうです。5月14日、降雨対策として、現在当会が入っている日新ビルで駐車場を使っている会社に雨天時のみ使用の許可をお願いしに会長と事務局長・所長の3名で訪問してきました。遅くとも10月迄には1台日新ビルの駐車場が空くという朗報も飛び込んできました。5月16日、入所希望の方が見学に来ました。5月18日、『城南特別支援学校』の先生が見学に来られました。

三木 直人

## 大学ボランティアセンターめぐり

5月9日(水)午前11時～午後3時30分ごろまで、職員の秋葉さんと僕(田中)の二人で、法政大学・市ヶ谷キャンパスへ行ってきました。その理由は、9月8日(土)に行われる『外に出よう』のボランティア募集のチラシや会報などを持って行きました。大学の中にある、ボランティアセンターに行き、書類を持って行きました。前もってメールや電話でのやり取りをしていたため、僕が考えていた以上に丁寧に対応してくれました。その書類を渡した秋葉さんと僕は、学食で昼食を取り校内を見学

して風の子の方に戻ってきました。参加をしてもらえるかどうか分かりませんが、一歩進んだような感じがしました。

田中 聡



よろしくお願ひしま

一歩前進だね!!





# クラブ活動報告

5月のクラブ活動は料理部ではポテトチップを作った。じゃがいもをスライスして油で揚げるのだ。初めての試みだったがシンプルで面白かった。しっかり揚がったポテトに塩こしょうをまぶしたり、顆粒のコンソメをかけたり、職員の木村さんのアイデアで湯煎したチョコレートをトッピングしたりして食べた（僕的にはチョコポテトはいまいちだったけれど・・・）。職員が頑張ってくれたおかげで楽しい時間が過ごせた気がする。ちなみにぶらり部はお台場へ行き、手芸部ではボラとメンバーが不思議な踊りを踊っていて、麻雀部はいつも通りに盛り上がっていた。

小野塚 航



↑ 実習所近くの乗船所より、船に乗り込むぶらり部のメンバー。



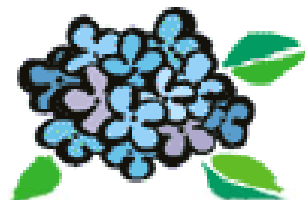
↑ ポテトチップス用に調理するジャガイモの皮をむく母ちゃん。



↑ 出来上がったポテトチップスに味付けする為のコンソメを、粉にしている小野塚さん。



↑ 麻雀をプレイしてるととても平和な光景。ただここだけはまるで雀荘の雰囲気。



# 夕会便り

4月の土曜日に夕会がありました。テーマは外に出ようです。今年はレインボーブリッジか横浜です。みんなで話し合いをしました。

井出さんがレインボーブリッジについて説明しました。車イスで橋を渡るのは少し危険があります。話し合いの結果、横浜に決まりました。太田さんが喜びました。アンケートの書類に書いてもらいました。わたしは横浜でボランティアさんと食べ歩きがしたいです。レインボーブリッジの危険とは何か、橋の道路はせまいです。しっかり用意しないと行けません。

5月12日土曜日、風の子会で夕会がありました。テーマは横浜です。職員の木村さんが説明してました。横浜はせまくいくか、ひろくいくか話し合いました。私は広く行ったほうが良いと思いました。参加費は1000円です。6班にわかれて行動するそうです。電車で行きます。

5月19日土曜日。風の子会で夕会がありました。みんなで話し合いをしました。今年はほかの団体の障がい者は参加しません。風の子会だけでやります。最初は他の団体の障がい者が来るのをオッケーしましたが、人の手が足りないので反対しました。そのほうが良いと思いました。

柳川 敬事



↑夕会の様子その1



↑夕会の様子その2





# バザー一品大募集!!

風の子会は今年も区民祭りに参加します。今年もバザー品販売を頑張りたいと思っています。そこでみなさんをお願いします。

家の奥に眠っている不要品をバザー品として出していただけるとありがたいです。特に文庫本・衣服大歓迎です。

風の子会のみんなで精一杯販売しますので、よろしくをお願いします。

バザー品として使用できるもの

- ・文庫本
- ・衣服（新品、または新品同様なもの）
- ・食器（セットになっているもの）

バザー品としてダメなもの

- ・家電製品、CD、DVD
- ・汚れ、毛玉がついてる衣服
- ・コミックや専門的な本、図鑑など。ハードカバーなもの
- ・セットになっていない食器
- ・欠けている、もしくは汚れている食器

送り先

特定非営利活動法人 風の子会

〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

港区在住の方はこちらから取りに伺います。（時間は応相談）

港区外の方は、バザー品を送ってください。

※送料は申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。

詳しいことを確認したい方はお電話下さい。

TEL：03（6809）4001

担当：平沼



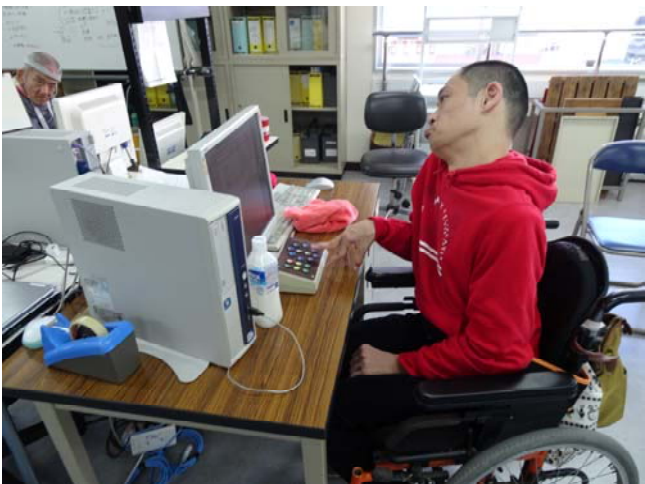
# ボランティア募集

あなたに手伝ってほしいこと(日中活動)

- ①、昼食の介助・トイレの介助  
(午前11時30分～午後4時00分)
- ②、作業の手伝い
- ③、作業の工夫の相談
- ④、昼食後の食器洗い・そうじ・洗たくなどの手伝い(午後1時00分～4時00分)
- ⑤、買い物の手伝い(メンバーの付き添いの手伝い)
- ⑥、外出・散歩の手伝い(近所の公園に行く・散策をする)
- ⑦、行事の手伝い(旅行や水曜レクリエーションなどの参加や下見にも行く)
- ⑧、留守番・電話対応  
(職員が送迎に出てる間の留守番, 午前9時00分～11時30分)
- ⑨、福祉車両の助手(午前9時00分～11時30分)
- ⑩、人生相談(僕たちの悩みを聞く手伝い)



皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしくお願いま～す!!!





## クラブボランティア募集

### クラブ活動のボランティア募集

毎月一回、最終土曜日13時00分～15時30分まで、クラブ活動を行っています。

その内容は

- ①、料理部の手伝い  
(障がい者の調理補助・買い出し・片付けなどをしてくれる人)
- ②、マージャン部の手伝い(教えてくれる人・一緒に参加してくれる人)
- ③、ぶらり部の手伝い(散歩の付き添い、車イスを押してくれる人)
- ④、手芸部の手伝い(デザインを考えてくれる人・一緒に作ってくれる人)

## 牛乳パック募員御礼

日頃、風の子会の活動にご協力いただきありがとうございます。

牛乳パックの募集を行ってりましたが、皆様の協力のお陰もありまして牛乳パックが予想以上に集まりました。

今後しばらくは、材料が十分確保された状態にあり誠に勝手ではありますが牛乳パックの募集を打ち切らせて頂きます。

ご協力くださった皆様本当にありがとうございました。

本当にありがとうね！！  
これからも皆さんから送ってもらった  
大切な牛乳パックを使って  
真心こめて頑張って和紙はがきを  
製作します！！



# 写真募集のお知らせ

現在風の子会では、過去～現在までの風の子会の活動などを収めた写真を募集しております。

アナログやデジタル何でも構いませんのでもしお持ちでしたら、風の子会までご連絡、もしくはお送りください。よろしく願いいたします。（なお送って頂いた写真は原則必ずお返しいたします。）

## 連絡先

特定非営利活動法人 風の子会  
〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18  
芝浦日新ビル5階  
TEL:03(6809)4001 FAX:03(6809)4002  
Email:kazenoko@kazenokokai.or.jp  
担当:秋葉 博



↑平成8年外に出ようIN横浜



↓平成3年表参道ふれあいバザー



↓昭和56年料理実習





# バリアフリーよもやま話

## 第71回 「国会 手話質問」 岡本 明

先日、国会の予算委員会の中継を見ていたら、手話をつけて質問をしている場面がありました。無所属クラブの薬師寺道代参議院議員の質問です。同議員は以前から福祉に関連する質問の際には手話をつけて質問しています。



たとえば、今年3月5日の参議院予算委員会では、障害のある人の働き方改革や学びなおしについての質問が手話を交えて行われました。これに対して、答弁をする側もごく一部ですが、手話を使って答えました。たとえば、加藤勝信厚生労働相は手話を交えながら「障害のある人々の支援をしっかりと頑張ってまいりたい」と答弁し、場内からどよめきと拍手が起こったそうです。2016年10

月の予算委員会でも聴覚障害者のスポーツ大会「デフリンピック」に関する同議員からの質問に対して、安倍晋三首相は、「(質問で) 取り上げてもらい、理解も進んだのではないか」と言ったあと、「私も大変うれしく思う」と言うときに「うれしい」という手話を見せました。また別のときには野田聖子総務大臣も一部に手話を使って答えたことがありました。参院事務局は「首相や閣僚と議員が手話でやりとりするのは珍しい」と言っています。

これは聴覚障害のある人や盲ろうの人達の間でも話題になり、一時メールなどで感想が飛び交っていました。多くは、「政治家も手話を使ってくれてうれしい」、「手話が広く認められるきっかけになる」など、前向きにとらえる意見でしたが、中には「全体に手話をつけている質問者はともかく、ちょっとだけ手話を見せるのは政治家の人気取り」と冷ややかに見る人もいました。その裏には、ちょっと手話をやって「私は福祉に関心があるんだ」ということを見せるだけではなく、もっと実際に現場を見た福祉行政をやってほしい、という積もり積もった気持ちがあるのかもしれません。

ところで、地方自治体には現在3名の聴覚障害議員がいます。北区議の斉藤りえさん、明石市議の家根谷敦子さん、戸田市議の佐藤太信さん（昨年初当選）で、手話で質問をしています。各議会では手話通訳、音声認識システムなどを整備し、聴覚障害のある議員もほとんど問題なく議会活動をできるとのことです。

地方議会では健聴の議員の手話による質問がときどきあります。たとえば帯広市議会や吹田市議会での質問の様子はYoutubeに紹介されています。いずれも聴覚障害支援に関する質問で、傍聴席には聴覚障害の方も多かったようです。

このように手話は議会にも普及してきてはいますが、まだまだ誤解されることもあるようです。ある県で健聴の議員が質問をした際に、傍聴席に聴覚障害の人がいたので、はじめの自己紹介の部分で手話をつけたところ、他の議員から、傍聴席に手を振るのはやめるようにと抗議されました。手話を、手を振っていると勘違いしたのです。これに対して県の聴覚障害者団体が「手話が自由に使え、一人でも多くの県民に伝わる議会であることを望みます。」などの要望書を提出しました。こういう状況からは早く抜け出す必要がありますね。

## 寄付のお礼

賛助会・寄付にご賛同を下さった方（順不同）

諏訪 敏子様、佐久間 健様、木田 節子様、反町 美佐子様

青木 和代様、金子 豊様、湯川 揚子様、長野 松男様

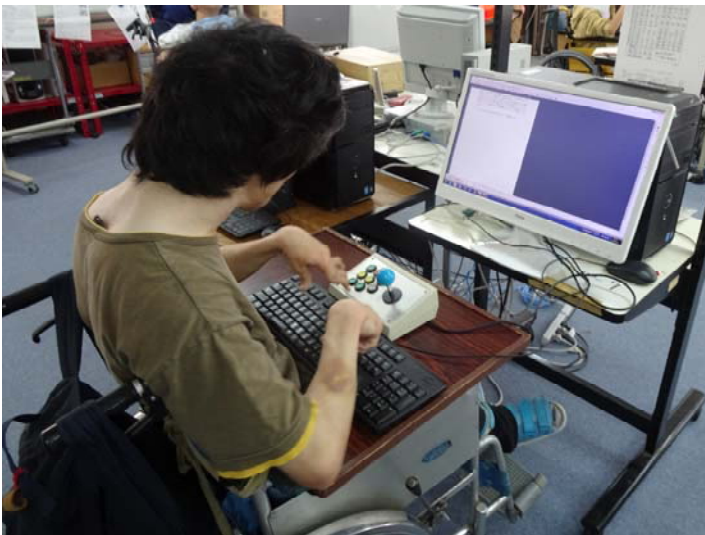
佐々木 厚子様、渡辺 さよ子様、江尻 公一様、塩崎 昇様

阿部 和子様、掛橋 竜也様

本当にありがとうございました。

## 敬事の料理コーナー

豚肉と白菜を包丁で大きめに切ります。フライパンに油をひき、豚肉と白菜を入れて、3分炒めます。味つけはトウバンジャンです。からいみそをいれて、かき混ぜて出来上がりです。ご飯の上に乗せて食べると最高です。ラーメンでもいけます。



↑らくらくマウスというジョイスティックのようなものとキーボードを駆使し、パソコンにて会報記事を作る柳川さん。



## 恵司のつぶやき

新海誠  
アニメ映画を観た  
秋葉君に  
借りた訳  
君の名は  
面白い  
感動した  
有難うまた良い  
秋葉君に頼みたい

けいじ



## メンバーのつぶやき

SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を駆使しても、余り期待しない方がいいのでは無いかという事が、ホームページとツイッター開設で分かりました。SNSは一手段であるから、過度な期待をしないで、『風の子会』を世間に知ってもらうための一つのツールと考えた方がいいという事が分かりました。只ツイッターの場合は、炎上が怖いですけど。

三木 直人

今年の5月17日(木)に大スター歌手、「ヤングマン」など数々の大ヒット曲を歌い続けた「西城秀樹」さんが死去した。

1970年代～1980年代にかけて秀樹はスーパーアイドルとなり、段々と実績をつけ沢田研二、山口百恵、ピンクレディーなどの大物歌手と肩を並べ、歌謡大賞やレコード大賞候補に毎年のように選ばれていた。

当時、私は学生時代から青春時代頃によく「ザ・ベストテン」や「歌謡ベストテン」などをテレビやラジオで見たり聞いたりしてその頃が沢山歌番組がやっていて楽しかった。

YUKI



↑三木 直人さん

↓パソコンで作業する幸さん。



## メンバーのつぶやき

確か小学5年の頃だったと思う、電車に置き忘れていた週刊少年ジャンプを父が家に持ち帰ってきたのは。そのジャンプには北斗の拳が掲載されていて、ケンシロウとラオウの最終決戦が今まさに始まろうとするところだった。北斗の拳は当時小学生の間でものすごい人気の漫画であり、ジャンプ発売の翌日の学校は北斗の拳の話で持ちきりだった（僕もかなり影響を受け、授業中に北斗の拳のオマージュ漫画を描いたりしていたものだ）。どうしても続きが気になった僕は、翌週から本屋にジャンプを買い求めに行くようになった。これが僕の“ジャンプ史”の始まりである。以来35年毎号欠かさず読み続けている。そんなジャンプも今年で創刊50周年だ。

小野塚 航



### ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

和柳松田小太  
栗川本村野田  
頭 塚  
太敬恵亮 圭  
郎事司彦航子

企画編集メンバー

幸三塚田太  
木田中田

高直愛  
史人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0022  
東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階  
TEL 03(6809)4001 FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>  
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

